

第 29 回リバーフロント研究所研究発表会プログラム

日時：令和3年11月22日(月) 13時00分より配信開始 視聴無料

URL：http://www.rfc.or.jp/ivent2021_hokokukai.html

・代表理事の挨拶 代表理事 塚原 浩一

・基調講演 (敬称略)

ドイツ・スイスの近自然川づくりと氾濫原管理～今学べき基本コンセプトと試行錯誤の過程～

参考資料 (http://www.rfc.or.jp/2019_europe.pdf) (約 50 分)

……………東京大学大学院工学系研究科 教授 池内 幸司

・研究発表

河川環境管理シートを活用した氾濫原環境の評価について (約 20 分)

……………自然環境グループ 研究員 白尾 豪宏

流域マネジメントの取組みを見える化する評価指標・評価手法の研究 (約 20 分)

……………水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 澤田 みつ子

かわまちづくりにおける河川管理者の課題意識の構造分析 (約 20 分)

……………水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 阿部 充

気候変動に対応する「多自然川づくり・流域づくり」の (約 20 分)

コンセプト (試案) の検討について

……………主席研究員 吉田 邦伸

・リバフロ近況報告

流域治水効果の評価方法に関する基礎研究 (第 1 報) (約 20 分)

……………技術参与 瀧 健太郎

・特別企画 河川水辺の国勢調査 30 年の成果と今後の展開

河川水辺の国勢調査結果のこれまでの傾向概要 (約 10 分)

……………自然環境グループ 次長 都築 隆禎

(一財) 水源地環境センター 研究第三部 次長 大杉 奉功

河川水辺の国勢調査の現状と今後の方向性について (約 10 分)

……………国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川環境保全係長 天羽 淳

座談会 (敬称略、順不同) (約 50 分)

大阪府立大学 名誉教授 谷田 一三

近畿大学 名誉教授 細谷 和海

東北大学大学院生命科学研究科 教授 占部 城太郎

認定特定非営利活動法人大阪自然史センター 理事長 梅原 徹

基調講演・研究発表・特別企画の質問につきまして

発表内容に関するご質問・ご意見等に関しては、11月30日まで電子メール (kenpatsu@rfc.or.jp)にて承りますが、主な質問に絞った上で、12月中旬頃を目途に当研究所のホームページにてご回答として掲載致します。お寄せ戴くご質問・ご意見等の全てまたは個別にご回答を差し上げるわけではございませんので、予めご承知おきください。

本研究発表会は、土木学会継続教育(CPD)制度のプログラム
(3.7 単位) に認定されています。

